

スポーツ立国実現に向けた基盤整備促進について

【担当省庁】総務省、文部科学省、国土交通省

2019 年ラグビーワールドカップ、2020 年東京オリンピック・パラリンピック、2021 年関西ワールドマスターズゲームズと 3 年連続で大規模国際大会が開催されることを絶好の機会として、京都府においてもスポーツを「する」「みる」「支える」機会の拡充を図りたいため、以下の措置を講じていただきたい。

スポーツ施設の整備促進等

国においては、スポーツ庁の設置を決定されるなど、「スポーツ立国」の実現に向けて取り組まれているが、その実現には、各地域において、スポーツ活動の拠点となる競技施設を整備し、競技水準の向上と地域スポーツの活性化を図っていくことが必要である。

また、オリンピック・パラリンピックの一翼を担う文化プログラムのように、スポーツと文化の融合を国を挙げて進めていくことも必要である。

京都府においても、トップレベルのスポーツ競技が可能な専用球技場である「京都スタジアム（仮称）」を整備するとともに、府立運動公園等において、次代を担うジュニアアスリートの育成拠点整備等を行いたいと考えているが、「スポーツ立国」の実現と世界に向けた日本文化の発信をともに促進するため、スポーツ基本法に基づく地方スポーツ推進計画に位置づけられたスポーツ施設の整備への新たな交付金の創設を含め、国庫補助及び地方財政措置を講じていただきたい。

2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツ振興宝くじの発売による財源の確保や、既存の「学校施設環境改善交付金」等のスポーツ施設整備のための予算を確保していただきたい。

< 主要な構想 >

京都スタジアム（仮称）の整備（新設）

複数の球技の国際的、全国的な試合に対応できるスタジアムを整備

京都府立丹波自然運動公園：「京都トレーニングセンター構想」

ジュニアアスリート（中高生）の育成拠点施設の整備

京都府立山城総合運動公園：「京都スポーツヒル構想」

府民の多様なニーズに応じたスポーツ活動拠点整備

(球技場の人工芝生化、陸上競技等用クラブハウスなど)

京都スタジアム整備事業の「スポーツ振興くじ助成事業」への採択

京都府では、京都中部の亀岡市において、青少年の夢とあこがれの舞台となるような専用球技場である「京都スタジアム(仮称)」の整備を進めており、「スポーツ振興くじ助成事業(大規模スポーツ施設整備助成)」に採択していただきたい。

<スポーツ振興くじ(toto)助成事業>

大規模スポーツ施設整備助成(助成上限：30億円)

スポーツ振興投票対象試合を実施する競技場の新設事業に係る工事費等を助成

東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた合宿地(事前キャンプ地)の誘致

京都府は、数多くの国際的・全国的なスポーツ大会を開催してきた実績と、文化においても豊富な人材と交流基盤を有していることから、海外からの選手団の受入面にあって大きな貢献ができると考えている。

については、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの合宿地(事前キャンプ地)として京都を推薦していただきたい。

京都の特性

日本の歴史や文化に触れることができる文化遺産等の地域資源が豊富

現在、様々なスポーツ施設の整備を積極的に推進(府立体育館の大規模リニューアル、京都トレセン(仮称)整備等運動公園の整備、専用球技場の新設)

府立体育館においては、バレーボールやテニスの国際大会を開催しており、海外選手団の受入実績

全国都道府県対抗女子駅伝や全国高等学校駅伝競走などの全国規模の大会開催実績

【現状・課題等】

スポーツ基本法（一部抜粋）

（地方スポーツ推進計画）

第十条 都道府県及び市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十四条の二第一項の条例の定めるところによりその長がスポーツに関する事務（学校における体育に関する事務を除く。）を管理し、及び執行することとされた地方公共団体（以下「特定地方公共団体」という。）にあっては、その長）は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画（以下「地方スポーツ推進計画」という。）を定めるよう努めるものとする。

京都府スポーツ推進計画（一部抜粋）

第 4 章 「夢・未来」スポーツ拠点の整備

▶ 具体的目標

- 1 青少年の夢やあこがれとなり、府民が誇れる専用球技場「京都スタジアム」(仮称)の整備
- 2 ジュニアアスリートの育成拠点となる「京都トレーニングセンター」(仮称)の整備
- 3 競技スポーツと生涯スポーツ双方の府民ニーズを踏まえた府立運動公園等の整備

学校施設環境改善交付金 スポーツ施設（社会体育施設）＜文部科学省＞

- ・ 交付金算定割合 1/3（学校施設に関しては学校教育施設整備事業債に交付税措置）
- ・ 交付対象事業 地域スイミングセンター、地域水泳プール、地域スポーツセンター、地域武道センター、地域屋外スポーツセンター、社会体育施設耐震化事業
スタジアムの様な大規模建築を想定したメニューがない

京都スタジアム（仮称）の整備概要（整備場所：亀岡市）

規模・用途：20,000 人（J1 レベル）全席屋根付き

サッカー、ラグビー、アメフトの専用球技場

整備スケジュール：基本・実施設計、工事 平成 26 ～ 29 年度 予定

（予算概算 設計 3 億円、工事 154 億円）

Jリーグ京都サンガがホームスタジアムとする予定

京都府立運動公園の整備

京都府立丹波自然運動公園 「京都トレーニングセンター構想」

丹波自然運動公園内の恵まれた自然環境を活かし、中学・高校生を中心としたジュニア競技者の育成拠点とし、陸上競技場の 2 種公認化整備

< 主な再整備施設と事業費、事業メニュー > (単位: 百万円)

	整備施設	事業費	事業メニュー(交付金等)
実施・着手済み (・～・)	・テニスコート(4面) 夜間照明	72	防災・安全交付金
	・補助競技場夜間照明		
	トレーニングセンター及び 宿泊棟(合築)	2,173	学校施設環境改善交付金 森林・林業再生基盤づくり交付金 グリーンニューデール基金
整備予定 (・～)	陸上競技場第2種化整備	228 (・145)	防災・安全交付金
	テニスコート屋根付観客席	290	
	グラウンド人工芝生化	269	スポーツ振興くじ助成事業
	クロスカントリーコース整備	25	
	多目的広場整備	6	防災・安全交付金
計		3,063 (・～673)	

京都府立山城総合運動公園 「京都スポーツヒル構想」

広大な園地や都市近郊に立地していることから、府民のスポーツ活動拠点として、新たなニーズに応える施設の再整備

< 主な再整備施設と事業費、事業メニュー > (単位: 百万円)

	整備施設	事業費	事業メニュー(交付金等)
実施・着手済み (・～・)	遠的弓道場	58	森林整備加速化・林業再生基金事業 防災・安全交付金
	陸上競技場スタンド屋根新築	316	防災・安全交付金
	クラブハウス(テニス・野球共用) 増改築	69	元気づくり交付金
	テニスコート屋根新築	236	
	陸上競技場夜間照明設備	91	スポーツ振興くじ助成事業
整備予定 (・～)	クラブハウス(第2陸上競技場・球 技場共用)新築	189	防災・安全交付金
	グラウンド人工芝生化	313	スポーツ振興くじ助成事業
計		1,272 (・～502)	

京都府における国際大会誘致に向けた取組

平成 26 年

9 月 9 日 京都府スポーツ国際大会等誘致推進本部設置

第 1 回同推進本部調整会議開催

9 月中旬～ 市町村・競技団体等意向調査(調査結果とりまとめ～5月)

平成 27 年

1 月 30 日 第 2 回推進本部調整会議開催

6 月 誘致計画(案)策定予定

京都を開催地とする主な国際・全国等スポーツ大会

(国際大会)

- ・ワールドグランドチャンピオンズカップ 2013 (男子バレーボール)
- ・FIVBワールドリーグ 2014・2015 インターコンチネンタルラウンド 2年連続の開催
(男子バレーボール)
- ・GSユアサ女子オープンテニス、島津全日本室内テニス選手権大会(ともに毎年)
- ・国際親善プレ大会「第14回 2014 歴史街道丹後 100kmウルトラマラソン」
- ・UCI(国際自転車連盟)公認ツアー・オブ・ジャパン(平28～)

(全国大会)

- ・全国都道府県対抗女子駅伝、全国高等学校駅伝競走、全国車いす駅伝競走
- ・関西学生対校駅伝競走大会(丹後大学駅伝)、TANTANロングライド
(いずれも毎年)

【京都府の担当課】

文化スポーツ部	スポーツ振興課	075-414-4252
	スポーツ施設整備課	075-414-4284